

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2014

October  
No.1032

10月

表紙

3万8000人が来場し盛り上がりを見せた「ほんべつぎらめきタウンフェスティバル2014」



## 平成26年度開町記念式典

# 平成26年度 本別町開町記念式典

本別町開町記念の9月15日、開拓功勞者謝恩祭が山手町頌徳碑前で、平成26年度開町記念式典が中央公民館で執り行われました。



高橋正夫町長(左)から賞状と記念品を授与される功勞者

式典には関係者約70人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「基幹産業の農業を取り巻く情勢は、今だ先の見えないT P P交渉が継続するなど予断を許さない状況が続いており、今後もT P P問題を始めとするあらゆる農業問題の解決に向け、引き続きオール北海道、オール十勝の連携により、安心安全の食料確保を築くため強力な運動を展開する所存であります。また、今年は本町産業の原点の林業振興に寄与する木材加工工場が本格創業を開始し、地場産業の育成や企業融資による新たな雇用が実を結ぼうとしています。さらに現在のエネルギー政策で掲げられている自然エネルギーに関しても本町の自然環境を生かし多くの大型太陽光発電施設が稼働するなど、さらなる自然エネルギーの推進を図りながら、先人より受け継いだ不屈の開拓精神を遺憾なく発揮し、ふるさと本別はもとよりわが国が直面する問題に立ち向かいながら確実な克服し歩み続ける所存であります。町民一人ひとりが誇りを持てる町として発展するよう弛まぬ努力をしまりますので、町民各位の一層のご協力をお願いします」と式辞を述べ、永年にわたり町発展のために尽力された5人の功勞者を表彰しました。引き続き方川一郎町議会議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して黒山久男さんが「この感激を肝に銘じ、微力ながらより一層本別町発展のため努力してまいります」と謝辞を述べました。



受賞者を代表して謝辞を述べる黒山久男さん

## 開拓功勞者謝恩祭



9月15日午前9時30分から山手町頌徳碑前で「開拓功勞者謝恩祭」が開かれ、開拓功勞者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。

### 開拓功勞者八翁

- |        |        |       |       |        |       |        |        |
|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 前田金四郎翁 | 荒井深四郎翁 | 井出英作翁 | 岡崎公一翁 | 幕内小太郎翁 | 新津繁松翁 | 鈴木勝太郎翁 | 東條儀三郎翁 |
|--------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|

# 功勞者表彰

## 受賞者の皆さん(五十音順)



小笠原良美さん  
仙美里15番地3

平成14年地域の衆望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の栄を浴し、町政に参画、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。町議会においては産業厚生常任委員会委員長を務められ、現在は議会運営委員会委員長に就任、常に公正な判断と指導力によりまちづくりの推進に大きく貢献されている。また、本別町農業協同組合婦人部部長、北海道指導農業士、本別町民生委員児童委員など多くの公職を歴任され、本町の基幹産業である農業の振興と地域福祉の向上に努められ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



黒山久男さん  
南4丁目82番地

平成14年地域の衆望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の栄に浴し、町政に参画、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。町議会においては産業厚生常任委員会、議会運営委員会、広報広聴常任委員会の各副委員長、議会運営委員会委員長、総務常任委員会委員長を歴任され、現在は議会選出監査委員に就任、適正で効率的な行財政運営に寄与されている。また、本別町体育協会副会長、本別軟式野球連盟会長、本別高校野球部後援会会長等を歴任し、その功績により平成6年にスポーツ賞を受賞されるなど、スポーツの普及振興に幅広く活躍いただいている。これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



高瀬祐司さん  
緑町61番地

錦町自治会長として平成10年から平成26年までの16年の長きにわたり、地域住民の実情をよく把握され、自治会活動の円滑な運営を図り、自治会活動の充実発展に努め、地域福祉の向上に寄与された活動は他の自治会の模範とするところである。この間、平成24年度から2年間、本別町自治会連合会副会長として、単位自治会および関係機関との連携調整を図りながら、住みよい地域づくりに貢献され、これらの功績により北海道町内会連合会表彰などを受賞されている。また、共生ホームきりぎり代表として、高齢者や障がい者の住まいと生活支援を行うなど、生活弱者の福祉増進にも努められている。これらの活動に献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



戸田徹さん  
北8丁目5番地4

平成14年地域の衆望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の栄に浴し、平成26年に勇退されるまでの3期12年にわたり、高邁な政治信念を持って町政に参画される。町議会においては産業建設常任委員会副委員長、総務常任委員会副委員長、議会運営委員会副委員長を歴任され、郷土愛に裏付けされた、確固たる信念と、温かい包容力のある大きな人柄で、常に公正な判断と指導力によりまちづくりの推進に大きく貢献される。これらの献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



山西二三夫さん  
押4丁目5番地8

平成14年地域の衆望を担い本別町議会議員に立起され、見事当選の栄に浴し、町政に参画、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。町議会においては総務常任委員会副委員長、産業厚生常任委員会委員長を歴任され、現在は池北三町行政事務組合議会副議長に就任、常に公正な判断と指導力によりまちづくりの推進に大きく貢献されている。また、本別町農業協同組合理事、本別町農業委員会委員など多くの公職を歴任され、本町の基幹産業である農業の振興に努められ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、この活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。





ビビット・元気くんと妖怪体操

お楽しみ抽選会

歌謡ショー 堀内孝雄

家族対抗歌合戦

子供たちに人気の「ふわふわランド」

歌謡ショー 花咲ゆき美

ぶんちゃんずライブ

駒 踊り

本別小唄

義経太鼓保存会

地元キッズHIPHOPダンス

多くの家族連れで賑わった戦隊ショー

ポニー乗馬体験

ポーズを決めて  
十勝KIDS-TOKEL撮影会

大いに盛り上がったポニーばんぼレース 開催前に消防職員により行われた火気の点検

### ほんべつきらめきタウンフェスティバル2014終了御礼

9月6日・7日利別川河川敷地特設会場で開催いたしました第18回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2014には、十勝管内をはじめ、道内外から大変多くの皆さまにご来場いただき、誠にありがとうございました。天候にも恵まれ、2日間で約38,000人にご来場いただき大盛況にて終えることができました。イベントにご理解、ご協力賜りました多くの企業、団体、協賛各社と会場周辺の町内会、住民の皆さまに改めて心より感謝を申し上げ、終了のあいさついたします。

本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会 会長 野田 仁

# ほんべつきらめき タウンフェスティバル2014

東十勝花火大会

花火点火式

本別最大のイベント、第18回ほんべつきらめきタウンフェスティバル2014（実行委員会主催）が9月6日、7日の2日間、利別川河川敷地特設会場で開催され、町内はもとより、十勝管内外からたくさんの家族連れや友人同士などが訪れ、初秋のひとときを楽しみました。

## 好天に恵まれ、約3万8000人がイベントを満喫

第18回目を迎えた今年のほんべつきらめきタウンフェスティバル。両日とも好天に恵まれ、うまいもの市や友好都市小松島市物産市、包括連携協定を結ぶ白糠町物産市などが賑わいを見せたほか、1日目には、秋の夜空に4500発の花火が大輪を咲かせた東十勝花火大会、2日目は、堀内孝雄、花咲ゆき美出演の歌謡ショーや戦隊ショー、ポニーばんぼレースなど多彩な催しで来場者を楽しませました。この他、子供たちに人気のふわふわランドや両日ともイベントの最後には豪華景品の当たるお楽しみ抽選会などが行われ、来場した約3万8000人が、見て、食べて、飲んで、遊んで、たくさんのイベントを満喫しました。



# 高齢者日常生活圏域二一ズ調査結果報告

Part 1



住み慣れた「ほんべつ」でいつまでも  
健康やかに自分らしく生活するために

町では、平成27年度からスタートする第6期銀河福祉タウン計画（平成27年度～平成29年度）を策定する上での資料とするため、今年2月から3月にかけて自宅で生活されている全ての高齢者を対象に「高齢者日常生活圏域二一ズ調査」を実施しました。

この調査は、地域の課題や必要となるサービスを把握・分析し、高齢者が住み慣れた「ほんべつ」でいつまでも健康やかに、自分らしく、安心して生活できるまちを築くためのものです。今号から「全国統一の調査項目に関する回答結果」と「本別独自の調査項目に関する回答結果」を2回に分けてお知らせします。

回収率はなんと95.5%

今回は、自宅で生活している65歳以上の全ての高齢者のうち、回答者の約9割を占める一般高齢者（介護認定を受けていない人）の調査結果、「全国統一の調査項目に関する回答結果」についてお知らせします。

一般高齢者に対する調査は、民生委員や自治会のご協力をいただいた結果、95.5%の回答を得ることができました。この調査結果は、個々の高齢者の介護予防にも役立つ内容となっており、回答いただいた人に対して個人ごとに「結果アドバイス表」を送付いたします。

**調査の概要**

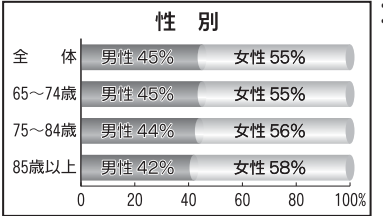
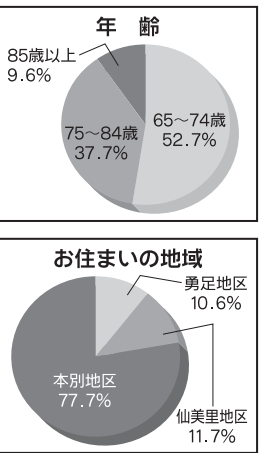
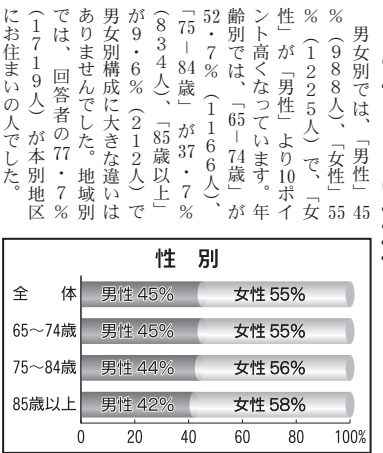
- 調査対象  
平成26年1月31日現在で本別町に住所を有する65歳以上の人、2,569人  
(施設入所、長期入院、長期不在者を除く)
- 調査区分  
①65歳以上の介護認定を受けていない人  
②介護認定を受けている要支援1から要介護2の人  
③介護認定を受けている要介護3以上の人以上の3区分で実施
- 調査期間 平成26年2月15日～3月31日
- 回収率

区分	①65歳以上(未認定者)	②認定者(介護2以下)	③認定者(介護3以上)	合計
配布数(A)	2,318	207	44	2,569
回収数	2,213	188	44	2,445
有効回収数(B)	2,213	188	44	2,445
有効回収率(B÷A×100)	95.5%	90.8%	100%	95.2%

## 全国統一の調査項目に関する回答結果

「一般高齢者（介護認定を受けていない人）の調査結果」  
※比率は四捨五入しているため100%にならない場合があります

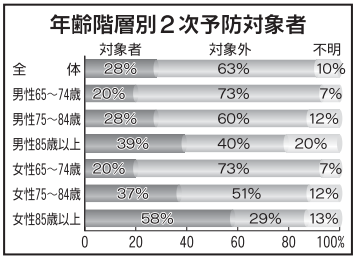
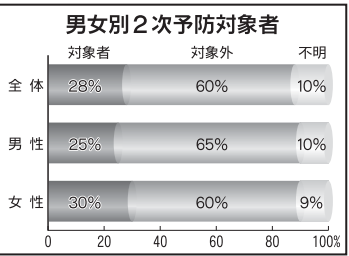
### ☆調査対象者の性別・年齢・お住まいの地域



### ☆一般高齢者の28%が2次予防対象者\*

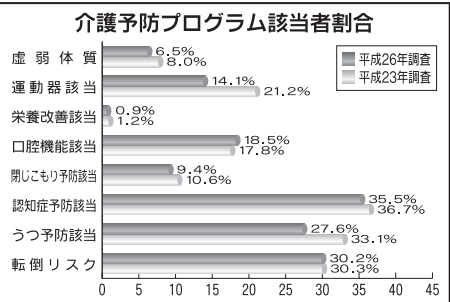
※生活機能が低下し、要介護状態になるおそれのある高齢者

2次予防対象者は、全体の28%（614人）で、男女別では、「女性」が「男性」より5ポイント高くなっています。性別・年齢別では、「75歳未満」が男女ともに20%ですが、年齢が上がるにつれ高くなり、「85歳以上」の場合、男性が39%（35人）、「女性」が58%（71人）とそれぞれ19、21ポイント高くなっています。前回の調査と比べると対象者の割合は、全体で4ポイント低い結果となりました。



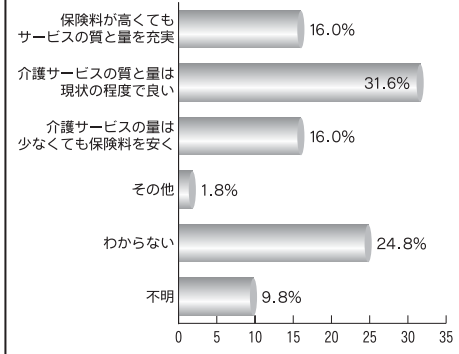
### ☆2次予防対象者の介護プログラム対象内訳

自分らしく健康やかに生活を送るためには、要介護状態にならないため「介護予防」の取り組みが必要です。各予防プログラム該当者について、全体的に見ると、「認知症予防」の対象者が最も高く35.5%と低いのには「栄養改善」が0.9%（26人）です。該当者の割合を前回の調査と比べると、「運動器」は14.1%と7ポイント低くなっており、その他の項目についても「口腔機能」以外は低くなっています。



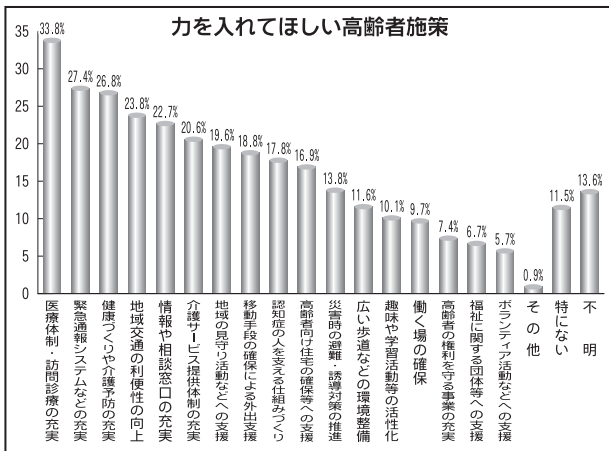


今後の介護保険料について



④ 介護保険料について  
介護保険は、国・道・町の負担と介護保険料、サービス利用料で賄われています。サービスを利用すると、サービス利用量が増えると介護保険料は上昇します。「本別町での今後の介護保険料についてどのように思いますか」の問いには、「サービスの質と量は現状程度で良い」が31.6%（700人）で最も多く、次いで「保険料が高くてもサービスの質と量を充実」が16.0%（354人）、「サービスの量は少なくとも保険料を安くしたい」が16.0%（354人）となりました。前回の調査と比べると、「わからない」と回答された人は4ポイント低くなりましたが、「サービスの質と量は現状程度で良い」との回答は5ポイント高い結果となりました。

力を入れてほしい高齢者施策

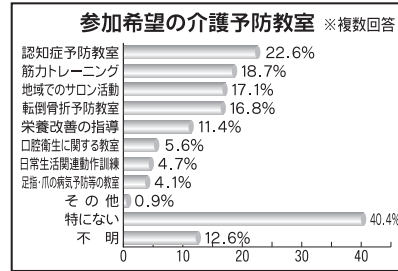
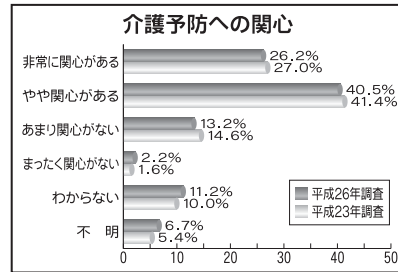


問い合わせ

「調査結果」に関すること 総合ケアセンター内 高齢者福祉担当 ☎22-8520  
「介護予防」に関すること 総合ケアセンター内 地域包括支援センター ☎22-9222

④ 介護保険料について

⑤ 今後必要な高齢者施策について

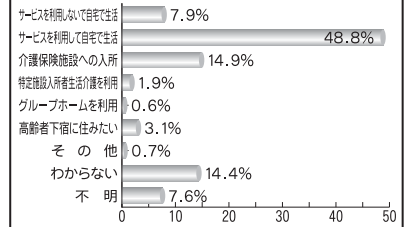


② 今後希望する生活の場

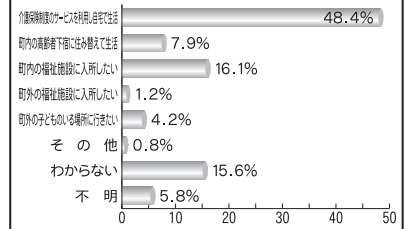
約7割の人が本町での生活を希望しています！  
「もし自分に介護が必要となったらどのような介護を希望しますか」の問いには、第1位が前回と同様で、48.4%（1,072人）が「サービスを利用しながら自宅で生活」を希望しています。また、「町内の高齢者下宿に住み替えて生活」が7.9%（175人）、「町内の福祉施設」への入所希望が16.1%（356人）をこれらと合わせると、約7割の人が本町での生活を希望しています。

① 介護予防に対する関心  
「非常に関心がある」と「やや関心がある」を合わせると66.7%（1,477人）になり、「あまり関心がない」と「まったく関心がない」は、15.4%（341人）。関心がある人は、ない人の4倍以上となりました。前回の調査と比べても大きな変化は無く、介護予防への関心の高さが伺えます。具体的に参加したい講座を伺うと、「特になし」が全体の40.4%を占めますが、具体的な講座を回答いただいた人の中で最も高いのは、「認知症予防教室」が22.6%（500人）で、前回の調査と同様の結果となりました。

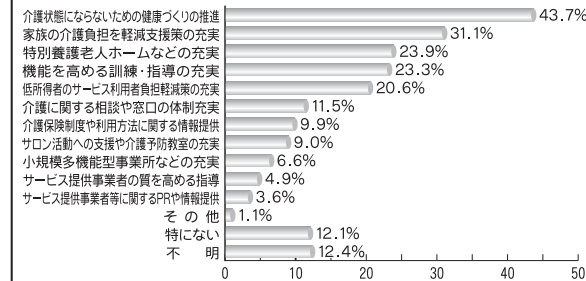
介護必要時の暮らし方（平成23年調査）



自分に介護が必要な状態になったときの希望



介護保険制度として特に力を入れるべきこと



③ 介護保険制度の強化点

「介護保険制度として、特に力を入れるべきことは何だと思いませんか」の問いには、「介護状態にならないための健康づくりの推進」が第1位で43.7%（967人）、次いで「家族の介護負担を軽減するための支援策の充実」が31.1%（689人）となりました。 ※複数回答





# 教育行政の進むべき方向性

町教育委員会では、平成25年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書を作成しました。

これは、効果的な教育行政を推進するとともに、町民の皆さま

## 平成25年度教育委員会活動状況点検・評価報告書（抜粋）

### 平成25年度教育委員会の活動状況

#### ▼教育委員会会議の開催状況

（1）毎月1回の定例会議および臨時会議 合計14回（56議案議決）  
※うち、移動教育委員会会議を町内5小中学校で開催

#### ▼法規・規則等の制定および改正状況

（1）教育委員会関係  
 条例の改正3件 規則の改正8件  
 規則の廃止1件 規程の改正1件  
 要綱の制定1件 要綱の改正2件  
 要綱の廃止2件

#### ▼教育委員会委員の活動状況

（1）教育委員会関係事業 計37日・延べ53人  
 （2）各学校関係各種事業 計16日・延べ48人

#### ▼各審議会等審議概況

（1）社会教育委員会 3回  
 （2）スポーツ推進委員会 5回  
 （3）文化財審査委員会 1回  
 （4）文化賞審議会 1回  
 （5）スポーツ賞審議会 1回

#### ▼教育費予算の概況

平成25年度の一般会計教育費の最終予算額（人件費・予算充当等含む）は、13億6035万6000円となり、一般会計予算総額に占める割合は16.4%になりました。

#### 自己点検評価

教育委員の主な活動では、定例および臨時の教育委員会会議を開催し、教育行政推進の方向性や施策の構築に向けた協議や審議を行い、実質的な教育行政の決定機関としての機能を十分に果たして

んへの説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織および運営に関する法律」第27条の規定により、教育行政事務の管理執行状況について、学識経験者の意見等を踏まえた点検・評価を行い、今後の教育行政の進むべき方向性についてまとめたいものです。

この報告書は、町議会に提出するとともに、町広報紙および町公式ホームページで公表します。

### 本別町教育委員会委員 （平成26年3月31日現在）

職名	氏名
委員長	水谷令子
委員長職務代理者	布施耕一
委員	山下博志
委員	鈴木清志
委員(教育長)	中野博文

てきました。特に、年度当初の委員会会議では、前段に各校長から自校の学校経営方針等について説明を受け、教育委員としての思いや意見等を学校経営に反映させています。また、教育行政の推進については、本別町が進める「生涯学習によるまちづくり」を基本に「ほんべつ学びの日」の趣旨・理念の普及啓発活動に取り組むとともに、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、町民のニーズに応えながら芸術・文化・スポーツの振興を図るなど、適正な教育行政の執行に努めてきました。

#### 今後の方向性

今後も町民の皆さまに信頼される教育委員会として、「第6次本別町総合計画」を基本に教育環境の整備充実を図るとともに、学校教育においては児童生徒の確かな学力向上と健全育成、社会教育においては第7次社会教育中期計画に基づいた各種行事・事業の充実を努めます。また、町民一人ひとりが生涯学習の観点に立ち、子供たちと共に学びへの関心を高め、ふれあい・豊かな心を育むまちづくりを推進するため、「ほんべつ学びの日」の趣旨・理念を広く周知するとともに「四つの風」事業の充実を努め、家庭・学校・地域が連携した効果的な教育行政を推進します。

「平成25年度本別町教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書」の全文については、本別町公式ホームページでご覧いただけます。

[http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cats3/post\\_48.html](http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/public/cats3/post_48.html)

#### 問い合わせ

教育委員会管理課総務担当

022-2233-1

# 国民年金

保険料納付に困ったら、相談ください

その150

経済的理由等により保険料を納めることが困難な場合、保険料の免除や30歳未満の人の納付猶予、学生の人の学生納付特例という制度があります。保険料の未納と免除や納付猶予などの手続きをするのとは異なるのは、将来受け取れる年金額に大きな差がでますので、未納のままにしないで、ご相談ください。

#### 免除制度

災害や失業、経済的な理由などで納付が困難な場合、手続きをすることにより所得に応じて保険料の全額または一部が免除されます。免除制度には、生活保護受給者や障害年金受給者などが受けられる「法定免除」と経済的理由等により受けられる「申請免除」があります。

#### 若年者納付猶予制度

30歳未満の若年者、同居している世帯主の所得が一定額に満たない場合は、申請により保険料を後払いにできます。※単身の場合、所得額が57万円以下（収入額122万円以下）が目安です

#### 学生納付特例制度

本人の所得が一定額以下の学生は、申請により学期間の保険料を後払いにできます。

#### 免除・猶予・学生特例は、未納のままより有利

免除、猶予、学生特例の手続きをすることにより、すべての期間が年金を受給するための資格期間に反映され、免除の期間は、減額はあるものの老齢基礎年金の算出に含まれます。また、免除手続きをした場合でも、10年以内に保険料を納めることにより老齢基礎年金を満額に近づけることができます。（ただし、保険料に一定額が加算されます）

これらの手続きを「未納」のままにしておくと、これらのメリットがありませんので、忘れずに手続きをしましょう。

※その他、平成24年10月から平成27年9月までの3年間のみの制度で、過去10年間さかのぼって未納期間の保険料を納めることのできる「年金後納制度」もありますので、ご利用ください。

これらの制度を利用する場合は、前年の所得が基準になりますので、必ず所得申告手続きをこなしてください。

国民年金 国民年金 国民年金 国民年金

◆職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額(平成25年度)	1,451千円		-	
平成25年度支給割合	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分	2.60月分 (1.45)月分	1.35月分 (0.65)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5%~15%		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・管理職加算10~25%	

(注) ( )内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当 (平成26年4月1日現在)

	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	21.62月分	27.025月分	21.62月分	27.025月分
勤続25年	30.82月分	36.57月分	30.82月分	36.57月分
勤続35年	43.70月分	52.44月分	43.70月分	52.44月分
最高限度額	52.44月分	52.44月分	52.44月分	52.44月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2%~20%)		定年前早期退職特例措置 (3%~45%)	
1人当たり平均支給額	13,557千円			

(注) 退職手当1人当たりの平均支給額は、前年度に退職した全職種の職員に支給された平均額である。

③ その他の手当 (普通会計) (平成26年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成25年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成25年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		14,150千円	193,835円
住居手当	〔借家〕月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒(家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円を加算 〔持家〕月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	〔借家〕借家限度額 27,000円 〔持家〕 なし	18,982千円	174,146円
通勤手当	〔交通機関利用〕月額限度額 50,000円 〔交通用具利用〕片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	〔交通機関利用〕55,000円 〔交通用具利用〕20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,519千円	44,676円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 9% 主幹 10% 課長、室長、事務局長 8% 課長補佐、次長	異なる	課長職定額 課長補佐職定額	11,685千円	402,931円
夜勤手当	25%増し	同じ		136千円	27,200円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,173千円	83,785円
寒冷地手当	〔世帯主〕扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 〔その他の職員〕 51,700円	同じ		13,285千円	99,141円

◆特別職等の報酬等の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合	
		6月 1.90月分	12月 2.05月分 合計3.95月分
給料	町長	747,000円	加算措置：当分の間支給停止
	副町長	616,000円	
	教育長	562,000円	
報酬	議長	292,000円	加算措置：当分の間支給停止
	副議長	230,000円	
	議員	185,000円	

問い合わせ 総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧いただけます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。町民の皆さんに町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆一般行政職の平均給料月額、平均年齢の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
大学卒	317,600円	42.3歳
短大卒	346,200円	46.1歳
高校卒	334,400円	44.8歳
中学卒	341,100円	45.3歳
全平均	330,500円	44.2歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成26年4月1日現在における一般行政職の基本給の平均である。

◆一般行政職の職級別職員数 (平成26年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成25年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	11人	9.8%	9人	8.2%
2級	主事、技師	7人	6.2%	6人	5.4%
3級	主査、副主査、主任	29人	25.9%	33人	30.0%
4級	主査、副主査	34人	30.4%	31人	28.2%
5級	課長、室長、課長補佐	18人	16.1%	20人	18.2%
6級	課長、室長	13人	11.6%	11人	10.0%
合計		112人	100.0%	110人	100.0%

(注) ・本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。  
・標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。  
・平成19年度から6級制に移行。

◆職員の初任給の状況 (平成26年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

◆職員の給与の状況 人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(平成26年1月1日現在)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A	(参考)平成24年度の人件費率
25年度	7,915人	7,801,545千円	91,366千円	1,372,193千円	17.6%	19.4%



# 京都大学交響楽団

## 演奏会



町芸術文化事業振興会（朝日基光会長）および町教育委員会主催による京都大学交響楽団演奏会が8月21日、中央公民館で開催され、来場者たちは、111人で大編成されたオーケストラの奏でる迫力ある演奏を満喫しました。

### 約430人の来場者を魅了



指揮者体験をする本別中学校 羽生慶斗君

町内外から訪れた約430人の観客

京都大学交響楽団は1916年に設立され日本でもっとも古いアマチュア楽団の一つで、今回の道内公演では、4箇所を予定しており、十勝管内では本別町のみで開催で、本町での本格的なオーケストラによる演奏会は、平成元年に清流公園で札幌交響楽団による演奏会が行われた以来25年ぶりの開催となりました。

演奏会では、楽曲「ニュルンベルクのマイスターシンガー」より第1幕への前奏曲（ワグナー）で開幕し、ベートーベンの交響曲第5番「運命」やビゼーの組曲「カルメン」など16曲を演奏。オーケストラの力強い演奏で、町内外から訪れた約430人の来場者を魅了しました。演奏の合間には、指揮者体験やパートごとの楽器紹介と演奏、今回の公演のため編曲した「ジブリメドレー」を演奏するなど、趣向を凝らした演出に来場者から盛んな拍手が送られました。

# 平成26年度

## 地域防災研修会



地域防災力の向上を目的に、平成26年度地域防災研修会が8月20日、町体育館で開催されました。研修会には、自治会や消防など約140人が参加し、被災者からの実体験や気象の専門家からの講演を聞き、災害に対する備えや防災活動への意識を高めました。

### 日々の地域防災活動の大切さを学ぶ

講演では、始めに阪神淡路大震災の経験者で、4年前に北海道旅行で本別に立ち寄り、本別の町民との出会いがきっかけで平成22年より夏期の間、本町に夫婦で滞在するようになった松島寛さん（兵庫県神戸市在住）より、阪神淡路大震災での被害の状況などの説明のほか、経験談から「大震災のときは、みんなが被災者で、消防や警察なども手が回らない状況、生存者の大半が家族や近隣の人に助け出してもらった」と話し、「近隣との助け合いなど、地域での防災活動が一番大事」と強調しました。続いて、帯広測候所予報官の山中智さんから近年の地震災害について、地震の揺れが伝わる仕組みや、緊急地震速報の有効活用により地震の揺れが始まる前に情報を得ることで、身構えや身の安全確保ができる時間が生まれ、減災に繋がるなどの話があり、参加者は、いつかは来る災害への意識や、自治会など日ごろの地域防災活動の大切さを学びました。



阪神淡路大震災の実体験を語る松島寛さん

緊急地震速報の活用方法を説明する山中予報官



# 第14回 本別町社会福祉大会



第14回本別町社会福祉大会（大会長 桑田達一 本別町社会福祉協議会会長）が8月29日、社会福祉関係者や自治会役員など約250人が出席し、中央公民館で開催されました。

## ともに支え合う 安心・安全・福祉のまちづくり

大会では、町民憲章を出席者全員で朗唱した後、桑田大会長が「地域住民の多様なニーズを反映させることを目指し、公民協働によるともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指し町民の皆さんに愛され、信頼され、支えられる社協づくりにまい進します」とあいさつ。続いて社会福祉事業に功績のあつた19個人に盾と記念品が手渡され、受賞者を代表して本別町在宅介護者を支える会の今野保雄さんが「今日の受賞を契機として社会福祉の重要性を再認識し一層精進していきたいと考えています」と謝辞を述べました。その後、引き続き記念講演として、自ら障がいを持ちながらも、現在、千葉県生涯学習指導者の倉田知典さんより「見かけは不自由、心は自由に」と題した講演が行われました。倉田さんは「障がいの者の受け皿は沢山あるが、施設などに入り社会から離れてしまうと社会性がなくなる」「私は、障がいを抱けていても健常者と同じ生活をしたい。ヘルパーや友人などの手を借りながら一人暮らしをしており、経験から、障がいの有り無しを問わず、互いの立場に立って支え合える人と人とのつながりが大切だと思っ



講師の倉田知典さん

ている」と語り、出席者らは、誰もが互いに支え合い、心豊かに暮らせる環境づくりの大切さを再認識しました。

# Mitchell

## ミッチェルからの本別訪問団が来町

姉妹都市オーストラリア・ミッチェルからの訪問団一行13人が9月19日から23日の5日間、ホームステイなどで交流と絆を深めました。

到着した9月19日は、中央公民館でウェルカムパーティーが開催され、本別国際交流協会（棚原秀樹会長）やホストファミリーなど約80人が出迎えました。高橋正夫町長は「人と人が行き交うことで文化の交流ができ、皆さんの訪問を大切に世界平和に寄与できるような交流を深めたいと思います」と歓迎のあいさつ。訪問団のステファニー・ペイトン代表は「ホームステイをしながら、日本の文化に触れることを楽しみにしています」とあいさつ。その後、記念品の交換やホストファミリーとの対面、10月に訪問する中・高校生の訪問団と懇談し、巻きずしやてんぷら、たこ焼き、そばなどの日本食を味わいました。その他、義経太鼓保存会の太鼓演奏を聞いたほか、一緒に太鼓演奏を体験するなど、楽しいひとときを過ごしました。

訪問団は、9月20日の町音楽祭の出演や、町内の12家族の下で3日間ホームステイをし、互いの交流を深め、別れを惜しみながら再会を誓って本別を後にしました。



本別町から送られた記念の掛軸に喜ぶ訪問団



義経太鼓の演奏を体験



パーティーの後、夜でかけナイトを見学



ウェルカムパーティー

# 子ども・子育て支援新制度で増える教育・保育の場

幼稚園・保育所に加えて、認定子ども園の普及の推進！

これまで小学校就学前の施設として、幼稚園と保育所の2つが多く利用されてきましたが、平成27年4月より本格施行される子ども・子育て支援新制度では、幼稚園と保育所に加えて、両方の良さをあわせ持つ「認定子ども園」の普及や、地域の実情に応じた少人数の子どもを保育する事業を創設し、子どもが減っている地域で身近な保育の場を確保するとしていこう。



## 現在多く利用されている施設

就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設

保育所  
0~5さい



- 利用時間** 夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施
- 利用者** 共働き世帯など、家庭で保育のできない保護者

小学校以降の教育の基礎をつくるための幼児期の教育を行う学校

幼稚園  
3~5さい



- 利用時間** 昼過ぎごろまでの教育時間のほか、園により教育時間前後や園の休業中の教育活動（預かり保育）などを実施します。
- 利用者** 制限なし

※本町には公設の保育所と私立幼稚園があります

## 新制度で国が普及を進める施設

### 教育と保育を一体的に行う施設

※幼稚園と保育所の機能や特徴をあわせ持ち地域の子育て支援も行う施設

●新制度では、認可手続きの簡素化などにより、新たな施設や幼稚園・保育所からの移行をしやすくし、さらなる普及を目指しています

認定子ども園

0~5さい



3つの特徴

1. 保護者の働いている状況に関わりなく、どのお子さんも、教育・保育を一緒に受けることができる施設
2. 保護者が働かなくなったなど、就労状況が変わった場合でも、通い慣れた園を継続して利用できます
3. 子育て支援の場が用意されていて、園に通っていない子どものご家庭も、子育て相談や親子の交流の場として利用できる施設

### 20人未満の少人数で、0~2歳の子どもを預かる事業

●新制度では、新たに市町村の認可事業として、待機児童の多い0~2歳児を対象とする事業の推進を図り、保育施設を新設する場所のない都市部や、子どもが減少している地方など、地域のさまざまな状況に合わせた保育の場の確保を目指しています

地域型保育

0~2さい



4タイプ

1. 家庭的保育 少人数（定員5人以下）で家庭的な雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行う
2. 小規模保育 少人数（定員6~19人）で家庭的保育に近い雰囲気のもとで、保育を行う
3. 事業所内保育 会社の事業所の保育施設などで従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育を行う
4. 居宅訪問型保育 障がい・疾病などで個別にケアが必要な場合や、施設が無くなった地域で保育を維持する必要がある場合などに保護者の自宅で保育を行う

※現在、上記の施設は本町にありませんが、子育て環境の整備について「子ども・子育て会議」で検討を進めていきます

問い合わせ 子ども未来課 子ども・子育て支援担当 ☎22-8130



# HELLO 本別高等学校

## 校訓 創意実践

本年度は、62人の新入生を迎え、  
全校生徒168人でスタートしました  
『1学期の主な行事』



4月 入学式



6月 進路活動 (進路相談員講話)



6月 野球全校応援 (帯広の森)



5月 部活動 (高体連壮行会)



6月 進路活動 (立教大生講話)



7月 学校祭 (役場駐車場パフォーマンス)

本気で本高で夢実現の旅に出よう

### 今後の主な行事

- 10月 一日体験入学、強歩大会
- 11月 見学旅行 (2年)
- 2月 スキー授業
- 3月 卒業式

※ホームページにさまざまな情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## 北海道本別高等学校

TEL : 0156-22-2052 / 2068

e-mail : honbetsu-z0@hokkaido-c.ed.jp

http://www.honbetsu.hokkaido-c.ed.jp/

# 土砂災害から身を守るために

～土砂災害警戒情報に注意しよう～

町では、北海道と気象庁が大雨による土砂災害発生の危険性が高まったときに発表する「土砂災害警戒情報」に基づき、避難勧告を行います。土砂災害危険箇所にお住まいの皆さんは、土砂災害警戒情報が発表された場合は、安全な場所に避難しましょう。



## 町からの情報に注意しよう

町では土砂災害の危険が高まった場合、同報無線、屋外拡声器、広報車による呼び掛けのほか、携帯電話への緊急速報メール、町インターネットホームページ、報道機関への情報提供に基づくテレビ・ラジオ放送など、さまざまな手段で注意を呼び掛けます。これらの情報を聞いたら、町が開設する避難所や知友人宅など安全な場所に避難しましょう。

※町民の命を守ることを最優先に、早めの避難勧告等を発令します



## 危険を感じたら早めの避難

土砂災害発生には前兆現象を伴う場合があります。こんな現象を見たり、聞いたら、危険な場所には近付かず、早めに避難しましょう。

- ・湧水や溪流が濁り水位が下がる
- ・河川や溪流に流木が混ざる
- ・斜面や溪流から水があふれる
- ・山鳴りがする
- ・斜面にふくらみや崩壊、ひび割れがみられる
- ・斜面から小石がばらばらと落ちてくる
- ・擁壁や道路にひび割れが発生する



## 危険箇所を調べておこう

本別町には、土石流が発生する恐れのある危険溪流が16箇所、崖崩れが発生する恐れのある急傾斜地が32箇所もあり、その多くは市街地に集中しており土砂災害の危険が高い地域です。土砂災害危険箇所は、皆さんに配布している「本別町防災ガイドマップ」に詳しく掲載していますので、日ごろからどこが危険か、避難所はどこか、確認しておきましょう。また、町ホームページや北海道建設部のホームページからもご覧になれます。

本別町のホームページURL

http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/living/cat4/post\_144.html

北海道建設部河川砂防課のホームページURL

http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/kss/index.htm



問い合わせ

住民課環境生活担当 ☎22-8128

## 陽気な踊りに笑顔 8 24

町老人ホームふれあいまつりが8月24日、同施設前駐車場で開かれました。まつりでは、施設職員による焼き鳥やゆでとうきびなどの販売、日赤奉仕団の協力によるヨーヨーすくいやフリーマーケットなどが行われたほか、アトラクションとして、ふれあい友の会会員が着ぐるみで陽気な踊りを披露。入所者やその家族、向陽町自治会員など多くの人が楽しい1日を過ごしました。



## 平和の尊さを学ぶ 8 27

仙美里小学校（寺島康博校長・30人）の5・6年生9人が8月27日、資料館企画展「7月15日別空襲を伝えるー北海道空襲とほんべつー」を見学しました。弥生町にお住まいの吉井誠さんを講師に迎え、本別空襲の体験談や爆弾、機銃についての語り部の会が開かれたほか、戦争の悲惨さを伝える貴重な展示品の説明を受けました。児童らは、真剣な表情で聞き入り、平和の尊さを学びました。



## 陸上競技大会 ボール投げで大健闘 8 20

7月20日・21日に網走市で開かれた第32回北海道小学生陸上競技大会女子6年ボール投げの部に出場した貝瀬茉佑さん（本別中央小6年）、田中琉々さん（同）が8月20日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に大会結果を報告しました。結果は、貝瀬さんが4位入賞、田中さんも11位と大健闘。貝瀬さんは「3位になれなくて悔しかった」、田中さんは「自己ベストを出せて楽しかった」と話し、中野教育長は「2人ともよく頑張りました。次の大会でもベストを出せるよう頑張ってください」と激励しました。



## 豆のおせんべいおいしい 8 21

J A本別町（田中敏行組合長）から8月21日、町内全保育所へ豆のおせんべいがプレゼントされました。このおせんべいは本別産の豆で作られており、中央保育所では9月2日午後3時のおやつ時間にいただき、子供たちは「おせんべいおいしい」と話しながら笑顔で味わいました。



## 交通事故死ゼロ 500日達成 8 18

8月15日に本別町内での交通事故死ゼロ500日を達成し同18日、佐々木裕作本別警察署長が役場を訪れ高橋正夫町長へ感謝状を手渡しました。佐々木署長は「シートベルトの着用を徹底し、次は1,000日を目指してください」と述べ、高橋町長は「今後も交通安全意識を高め、安全安心のまちづくりに努めます」と無事故への決意を新たにしました。



## 十両目指して 頑張ります 8 19

本別出身力士北勝若大智さん（本名篠原大智さん）が8月19日、役場を訪れ高橋正夫町長を表敬訪問しました。大智さんは現在、八角部屋に所属する幕下53枚目。「十両目指してこれからも頑張ります」と決意を語り、高橋町長は「ケガのないよう一場ずつ力を出し切って頑張ってください」と固い握手を交わしながら激励しました。



## プロの技術を体感 8 18

北海道日本ハムファイターズフィードクラブ野球教室（教育委員会主催）が8月18日、弥生球場で開催されました。指導にあたった同球団元投手立石尚行さんと元内野手市川卓さんは、走・攻・守の基本技術の見本を見せながら丁寧に指導。参加した町内各小学校の野球少年団団員および中学校野球部部員の計60人は、プロの技術の高さを体感しながら真剣な表情で取り組んでいました。



## 優しい音色にうっとり 8 18

義経教室一般公開講座「ハーモニカ演奏と人生講話」（教育委員会主催）が8月18日、中央公民館で開催されました。元JR帯広駅長で十勝シニア・リード・アンサンブル事務局長の関山稔さんを講師に迎え、「生涯現役、人生は出会い」と題した講話を行ったほか、60歳から始めた腹話術やハーモニカで昭和の懐かしいメロディー10曲を演奏。参加した約60人は、ハーモニカの優しい音色にうっとり聞き入っていました。







## 防災意識高め、訓練 9 1

柏木町自治会（菅原正道会長）による防災訓練が9月1日、同自治会で行われました。訓練は、地震による家屋倒壊を想定。午前9時に避難を呼び掛けるサイレンが鳴ると、同自治会員73人は生活館前に集まり、避難困難者等の安否確認方法など災害時の一連の流れを確認しました。菅原会長は、「万が一の場合には、日ごろの訓練が身を守ります。今後も防災意識を高め、訓練していきましょう」と述べました。



## 安全運転をお願いします 9 2-3

勇足小学校（吉藤清孝校長・49人）全校生徒が9月2日、同校沿いの国道242号線で交通安全キャンペーンを行いました。児童らはそれぞれ手作りしたお守りやマスコットなどを道行くドライバーへ手渡ししながら安全運転の徹底を呼び掛けました。9月3日には本別中央小学校（帰山孝美校長・248人）が全校生徒を対象に秋の交通安全教室を実施。ヤマト運輸足寄宅急便センター3人の指導のもと、トラックの死角体験や内輪差による危険について学習し、児童らは自分の身を守るための交通ルールを真剣な表情で学びました。



## 100歳おめでとございます 町敬老祝い金の贈呈 9 5

菅原アキノさん（柏木町）が9月5日に、100歳を迎えられ、高橋正夫町長から敬老祝い金が贈呈されました。

アキノさんは大正3年9月5日に池田町で生まれ、故正雄さんとの結婚を機に本別町へ移住。娘さん1人を育てながら亜麻工場などで働き、現在は特に悪いところもなく、近所の人や親せきに支えられながら一人暮らしをしています。長生きの秘訣を尋ねると、「なんでもおいしく食べることと、手足を動かすこと。時間を守り常に身だしなみもきれいにすること」と話し、100歳を迎えたことについては「うれしくて夕べは眠れなかった。ありがとうございます」と笑顔を見せてくれました。



## 夏祭りで交流 8 30

清流の里・あいの里交流センターによる地域交流夏祭りが8月30日、同施設駐車場で開催されました。お祭りには施設職員による屋台や流しそうめん、ヨーヨー釣り、射的などの催しが用意されたほか、本別中学校吹奏楽部による演奏も行われるなど、参加した施設利用者や近隣の地域の人たち約200人がお祭りの気分を味わいながら楽しいひとときを過ごしました。



## 町農産物などで福興支援 8 30

福興市に参加するため8月29日に役場前を出発した宮城県南三陸町福興市支援隊（坪忠男団長）の一行10人（町職員7人、JA女性部3人）が8月30日、現地で開かれた同市で、町の農産物などを格安で販売し被災者や支援者等を元気づけました。福興市への参加は今年で5回目。支援隊のテント前には、隊員らの「いらっしゃいませ」のおおきな掛け声で大勢のお客さんが訪れ、持参したジンギスカン約150食、大豆、小豆、金時75Kg、トウモロコシ300本を完売。売上金77,221円は、今後の活動に役立ててもらおうと全額福興市実行委員会へ寄付されました。



## JICA研修生 豆の加工技術学ぶ 8 29

国際協力機構JICAによる「アグリビジネスの振興と農村開発」と題した研修が8月29日、ゲンキッチンで行われました。ナイジェリア連邦共和国およびソマリア連邦共和国から来町した8人は、本別発豆ではりきる母さんの会会員の指導のもと、本別産の小麦と豆を活用したパン2種類とスープを調理。研修生のアベル・ギデオンさんは、「ナイジェリアでも豆はよく食べるがパンに入れることはあまりない。新しい加工技術を学ぶことができた」と話していました。



## 迫力ある11曲に拍手 8 30

本別プラスアンサンブル（唯野靖紀会長）第29回定期演奏会が8月30日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。出演した団員22人は、12のパートに分かれ、初めに行進曲「剣士の入場」を披露。オープニングから迫力ある演奏で約60人の来場者を魅了すると、引き続きドラマのテーマ曲やクラシックメドレーなどを2部構成のステージとアンコールで計11曲演奏し、会場からは1曲ごとに大きな拍手が送られました。



## カルシウム摂取で骨太 9 18

本別町食生活改善推進員協議会主催による「生涯骨太クッキング」が9月18日、健康管理センターで開催されました。参加した24人は同会会長の小泉優子さんを講師に、カルシウムを多く含む食材を使いじゃこの炊き込みご飯、鮭と大根の和風スープなどの4種類を調理。参加者全員、講師のアドバイスなどをよく聞き、それを受けて真剣に取り組んでいました。※この記事は、職場体験で役場を訪れた勇足中学校2年の大市辰哉さんが取材し書いたものです



## 自慢の歌声を披露 9 14

仙明カラオケ同好会主催による「第14回カラオケと芸能の夕べ」が9月14日、仙美里地区公民館で開かれました。同地区のカラオケ愛好家のほか、陽だまりの里職員など24個人3団体の計54人が出演。演歌やダンス、寸劇など日ごろ練習した自慢の歌声や踊りが披露されると、会場は和やかな雰囲気になり、約80人の来場者から温かい拍手が送られました。



## 人形劇に笑顔 9 19

家庭教育支援事業「なかよし」によるばまキッズまつりが9月19日、子育て支援センターで開かれました。参加した26組53人の親子は、牛乳パックで作られた椅子や人気キャラクターのワッペンなどの販売コーナーでお買い物を楽しんだほか、人形劇サークル竹とんぼによる「おおきなかぶ」の人形劇などを鑑賞。人形たちの動きに合わせ子供たちも「うんとこしょ、どっこいしょ」と声を掛けるなど、親子で楽しいひとときを過ごしました。



## 自転車レースが町内を通過 9 15

ツール・ド・北海道2014第3ステージが9月15日に行われ、帯広をスタートした選手団が本別町内を通過しました。選手らは、土幌町から本別町勇足、太陽の丘、美里別を経由し音更町のゴール目指して白熱した自転車レースを展開。沿道にはプロ選手の力走を一目見ようと集まった人たちが、ツール・ド・北海道と書かれたバルーンを手に選手らへ声援を送りました。



## 本別産野菜と豆の魅力を発信 9 13・14

白糠町最大のイベント「第22回カミングバラダイス」が9月13日・14日、同町で開かれ、本別町自慢の新鮮野菜、キレイマメシリーズ等の販売で本別町の魅力をPRしました。販売したのは、トマトや長ナスなどの野菜のほか、黒豆や小豆、金時の生豆、キレイマメの味噌やきなこなど全54品目。「キレイマメ知っている」「昨年買ったおいしかった」と話す来場者も多く、本町物産販売コーナーは大変盛況を見せました。



## 金メダル受賞 来年度に意欲 9 5

5月28日に行われたチャレンジデー2014において金メダルを受賞した本別町チャレンジデー実行委員会（大西光夫委員長）が9月5日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。大西委員長は、「金メダル受賞は自治会や団体の皆さんの協力のおかげです。チャレンジデーは地域の親睦や仲間づくりなどにも役立っていると思うので、来年度も継続していきたいと思えます」とチャレンジデーの成果と来年度への意欲を語りました。



## バーベキューで地域交流 9 13

ゆうゆうサークル運営委員会（山田英雄代表）主催による地域交流事業が9月13日、勇足生きがい館前駐車場で実施されました。毎年同館併設の「ゆうあいの里運営推進会議」や同館を利用する「福寿草の会運営委員会」、「勇足生きがい館運営委員会」の4団体合同で行われ、小学生から高齢者など80人が焼肉を囲んで交流を深めました。



## 社会貢献賞受賞 9 12

消費者保護推進等に長年に渡り貢献したとして平成26年度北海道社会貢献賞（消費生活関係功労者）を受賞した矢部志保子さん（前町消費者協会会長）が9月12日、役場を訪れ高橋正夫町長に受賞を報告しました。この表彰は、北海道から贈られたもので、矢部さんは、平成7年4月に町消費者協会理事に着任して以来同副会長、会長を歴任したほか、平成12年4月から十勝消費者協会幹事、理事、副会長を務め、現在も、町消費者協会顧問として引き続きご尽力されています。





# みんなの健康

362

皆さんは歯磨きの時に歯ぐきから出血することがあるでしょうか。出血の主原因は歯ぐきの炎症です。歯肉炎とか歯周炎といわれる病気になる。歯ぐきにブラッシングなどの刺激が加わると、比較的簡単に出血してしまいます。また、痛みを伴います。重度な歯肉炎や歯周炎になり歯ぐきの状態が悪くなると、刺激が加わらなくても出血することがあります。

## 適切なブラッシング



出血してしまおうと、恐怖心からブラッシングをしながら、また日常飲まれているお薬によっては歯ぐきを腫らして出血しやすくなるものなどもありますので、やはり歯科医院で聞いていただきたいと思えます。

賀陽歯科医院  
院長 賀陽真哉

## 友好都市 徳島県 小松島市へ職員派遣

教育委員会 山岡裕幸主任(37)が、友好都市・徳島県小松島市へ、職員の資質向上と交流を目的に研修生として派遣されました。研修期間は10月1日から12月31日までの3か月間。本町から9人目です。



## 本別の味覚、催しを満喫

第36回夜でかけナイト(実行委員会主催)が9月19日、銀河通り・大通り商店街で開かれました。今回は特別企画として「本別のぶた井大集合」と題し、町内の飲食店7店舗の豚井84食を格安で販売。あっという間に完売する人気ぶりを見せたほか、ジャガイモや玉ネギのミニバケツ詰め放題、大抽選会など多彩な催しも行われ、多くの家族連れや仲間同士がビール片手に本別の夜を満喫しました。



## 「本別町に特別支援学校(高等部)の設置を 求める署名」への協力ありがとうございました

日頃より障がいのある子、並びにその保護者に対しまして、温かいご支援を賜り感謝申し上げます。  
このたびは、本町への特別支援学校(高等部)の設置を求める署名活動に際し、町民皆さまより多大なご協力を頂き、また多くの方々にご賛同いただきまして誠にありがとうございました。  
現在、本町をはじめ近隣の町の皆さまから6,937筆のご賛同を頂戴しており、北海道教育委員会へ請願書とともに提出する準備をしております。  
障がいを持つ子供たちが、生まれ育った地域で、親元から通学できる環境を整備して頂くようこれからも活動を続けて参りますので、今後ともどうか変わらずご支援を頂きますようお願い申し上げます。  
そのの会(本別障がいの子をもつ親の会) 代表 土本直美  
事務局長 井出直美

## ご寄付ありがとうございます 平成26年8月16日から9月15日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかきつけて厚くお礼申し上げます。(敬称略)  
★教育委員会指定  
フィットネスバイク1台 …… 南1丁目 篠原洋子

- ★特別養護老人ホーム指定(備品購入費)  
金200,000円 …… 柏木町 田西 昭
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業  
金10,000円 …… 徳島県 鳥井 毅

# 銀河ホップアラウンド

## 足寄町

### 大収穫祭・秋の物産市



足寄町の農産物や特産品を生産者が自ら販売し、足寄町の味覚をPRします。

10月12日(日)  
午前9時～午後3時

- 内容
  - ・野菜や豆製品、チーズやワランぶき、手作りパン、漬物などの販売
  - ・フリーマーケット
  - ・じゃがいもの無料試食
  - ・どん豆加工実演
  - ・足寄フオーキングラリー
- 詳細 あしよる観光協会  
☎2516131

## 陸別町

### 第53回陸別町文化祭

町民による絵画、写真、書道、手芸などの作品や芸能発表をお楽しみください。皆さまの来場をお待ちしております。

10月25日(土)～  
11月2日(日)

○展示部門(タウンホール)  
10月26日(土) 午後1時～午後6時  
10月26日(日)～11月1日(土)  
午前9時～午後6時

- 行事部門
  - ・陶芸ボランティアセール(役場庁舎1Fロビー)  
11月1日(土) 午前9時～午後4時
  - ・婦人会ボランティアバザール(保健センター)  
11月1日(土) 午前11時～午後2時
  - 芸能発表(タウンホール)  
11月2日(日)  
午後3時～午後5時30分
- 問い合わせ 陸別町教育委員会  
☎2712123



ほんべつ学びの日 夢風事業

# 本のある暮らし 163

## 本のまち 夢づくり講演会

### 戸籍のまど

#### お誕生

8月後半から  
9月前半の  
届出分

大島 義章<sup>よしあき くん</sup> 義則<sup>よしのり くん</sup> 8/14 勇足東4

内田 帆高<sup>ほたか くん</sup> 勇介<sup>ゆうすけ くん</sup> 8/28 柏木町

前田 百福<sup>ももふく くん</sup> 茂雄<sup>しげお くん</sup> 晶子<sup>あきこ さん</sup> 8/31 弥生町

#### ご結婚

(白井 豊和<sup>とよかず さん</sup> 柏木町  
佐藤 菜津美<sup>なつみ さん</sup> 釧路町

(一森 祐輝<sup>ゆうき さん</sup> 山手町  
田中 里奈<sup>りな さん</sup> 北3丁目

#### おくやみ

中村 敏夫<sup>としゆき さん</sup> 70歳 8/29 錦町

池田 トシ子<sup>としこ さん</sup> 91歳 8/30 共栄

佐々木 喜美枝<sup>きみえ さん</sup> 76歳 9/2 向陽町

井出 大太郎<sup>おおいで さん</sup> 76歳 9/6 勇足元町

高橋 ちよ<sup>ちよ さん</sup> 86歳 9/7 向陽町

高橋 敏夫<sup>としゆき さん</sup> 80歳 9/11 向陽町

野々村 ケサ卫<sup>けさゑ さん</sup> 92歳 9/11 美里別東上

### わたしたちのまち

前月比

人口 **7,783人(±0)**

男 **3,836人(-3)**

女 **3,947人(+3)**

世帯数 **3,767戸(±0)**

〔8月末日住民基本台帳〕

～観る、聴く、感じる『風の又三郎』～

宮沢賢治の名作『風の又三郎』は、数多くの映画や漫画、絵本などに登場し、子どもから大人までが楽しめる不思議な物語が、映像や画像によって表現されてきました。

今回は、東北地方に生まれ育った作者による「モノクローム(白黒)写真」をご覧ください。モノクロームには、ラジオや本と同じような想像の世界があるといわれます。写真と、朗読と、トーク。読書の秋、宮沢賢治の世界を目と耳から感じてみませんか。

### 講演会

とき **10月24日(金) 午後6時30分から**

ところ **中央公民館大ホール**

演題 **「風の又三郎は、北海道で生まれた」**

講師 **写真家 佐々木 隆二<sup>ささき りゅうじ さん</sup> さん**



**プロフィール**  
1940年宮城県気仙沼市生まれ。仙台市を拠点に撮影活動を続け、全国各地で写真展やトークイベントを開催。写真展「いのち」(1990年)、「賢治が歩いた宮城」(2002年)、写真集に「風の又三郎」(2003年)など。河北新報に写真とエッセーを連載。情報誌や仙台フィルハーモニーの復興コンサートの写真を担当。平成24年度地域文化功労文部科学大臣表彰。

朗読出演 **図書館ボランティアぶっくる**

### 写真展

**佐々木隆二写真展「風の又三郎」**

期間 **10月7日(火)～10月28日(火)**

会場 **中央公民館大ホール**

※講演会の詳しい内容は、10月15日号くらしの情報紙「かけはし」でお知らせします

お問い合わせ先  
**本別町図書館**  
(愛称：ぶっくる一丸)  
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112